

令和6年度 第2回東海農政局農業農村整備等事業技術検討会
【国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区 再評価】
議事録

日 時：令和6年7月5日（金）10:00～11:15

場 所：桜華会館 富士桜

●参加委員

飯尾 歩 氏（(株)中日新聞社 論説委員）

大野 沙知子氏（名城大学都市情報学部 准教授）

武田 美恵 氏（愛知工業大学工学部 教授）

平松 研 氏（岐阜大学応用生物科学部 教授）

●東海農政局

田井地方参事官（事業計画関係）

澤田地方参事官（各省調整）

渡邊設計課長

安井防災課長

田中事業調整室長

●矢作川総合第二期農地防災事業所

長山所長

吉村調査設計課長

【事務局】

国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」の再評価に係る「令和6年度第2回東海農政局農業農村整備等事業技術検討会」を開催させていただきます。

本日は、野中章久委員が所用により、御欠席でございます。また、東海農政局農業農村整備等事業管理委員会委員長、杉山農村振興部長は本日付けで人事異動になりましたので、欠席となっております。

傍聴等につきましては、事前に各委員の御了解を頂いております。また、報道関係者の撮影は、冒頭地方参事官挨拶までとさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、お手元の配付資料の確認をさせていただきます。資料の不備、不足等はないでしょうか。

それでは、開会に当たりまして、東海農政局農業農村整備等事業管理委員会委員長代理、地方参事官の田井から御挨拶を申し上げます。

【農村振興部 田井参事官】

委員の先生方にはお忙しい中、また暑い中、第2回技術検討会に御参加頂きまして誠にありがとうございます。

前回、5月24日の第1回技術検討会では、現地で水利施設の状況や営農の状況について御確認頂いた上で、再評価資料について御審議頂きました。その後、関係団体への意見聴取ということで、関係する県、市、土地改良区に意見照会いたしまして意見を頂いているところであります。

本日の第2回技術検討会では、矢作川総合第二期地区の再評価に対する技術検討会としての意見の取りまとめをお願いいたします。この意見については、今後の事業の実施方針を整理するに当たって大変重要な内容になりますので、これまで御審議頂きました内容や、先ほど申しました関係機関の意見も踏まえまして、十分に御議論頂き、取りまとめていただきますようお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

報道関係者の方の撮影はここまでとさせていただきます。議事の進行につきましては、平松委員長をお願いいたします。

【平松委員長】

委員長を仰せつかっております、平松と申します。よろしくお願いいたします。

挨拶というほどのものではありませんが、最近聞いた話をしたいと思います。岐阜県の谷汲という山の中に住んでおられる岐阜大学の先生がおり、その先生が近くの田んぼを借りて稲作を始めたところ、1枚田んぼを借りると周りの方から「うちも借りてくれ」とどんどん話がくるのだそうです。話を聞くと、地代もゼロで借りているそうです。そんなに話がくるなら、営農組合に話をすればとお話しすると、中山間地ではそういったものもなかなかないということで、やはり、将来的には中山間地の農地を維持することは本当に難しいんだという話を聞きました。

一方で、今回の矢作川地域は、非常に優良な農地です。このような優良な農地であれば維持できるのかと思うと、先日見学させていただきましたけども、混住化が進んでいて、工業団地やそういったものの進出圧力がどんどん強くなって、こうした平らな農地であっても維持するのはなかなか難しいということがよく分かりました。

これから、市民や国民の皆さまに食料のことをもう少し理解いただき支援していただくこと、そしてこういった優良農地では農業も他の産業に負けないような力をつけていくことも本当に大切だなと感じました。今回の事業は、地域社会への支援にもなるということで、是非それが産業の力の強さに繋がっていけばいいかなと感じているところです。

それでは、議事に入っていきたいと思います。議事の円滑な進行のために、皆さまの御協力をお願いします。まず、議事の1番目、「再評価資料（案）について」について事務局から説明をお願いいたします。

【矢総二期 吉村調査設計課長】

（資料に基づき説明）

【平松委員長】

御説明ありがとうございました。それでは「質疑応答」に移りたいと思います。

只今の御説明を踏まえまして、各委員から御意見、御質問等ございましたら、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【平松委員長】

私からまず1つ質問させていただきたいと思います。見学させていただいて非常に都市化が進んでいて、シールド工法に変更したというのはよく分かる、というかやむを得ないだろうなと思ったんですけども、おそらくコストが上がってる原因はここではないかと思います。シールド工法に変更する前の計画について簡単に教えていただきたいのと、そこで具体的に避けられない問題があったらそれを紹介していただきたいのですが、いかがですか。

【矢総二期 吉村課長】

シールド工法に変更する前は、水路上部に仮設を整備しながら工事していくところでしたが、人口密集した区間でございまして、当初の計画時点では確認されなかった近傍集落の排水管が確認されたこと等を受けまして、やむを得ずシールド工法という変更に至った経緯がございます。

【平松委員長】

ありがとうございました。

【平松委員長】

他にございませんでしょうか。他に質問がないということですので、本日欠席の野中先生から御意見伺っておりますでしょうか。

【事務局】

本日欠席の三重大大学の野中委員には事前説明をいたしまして、その際に御意見を頂いておりますので御紹介いたします。「先般の現地調査では都市化・混住化が確認できた。このためシールド工法等により事業費が増嵩することは仕方がないと考えられる。コスト削減は大事だが、引き続き周辺地域の経済活動等への配慮にも取り組まれない。」と御意見伺っております。以上です。

【平松委員長】

ありがとうございました。

それでは、他に特にないようですので、議事の2番目「技術検討会の意見取りまとめ」に入りたいと思います。こちらは委員のみで取りまとめを行いますので、委員以外の方は御退室をお願いします。

===技術検討会の意見取りまとめ===

【平松委員長】

それでは、議事を再開したいと思います。再評価に係る「技術検討会の意見」を作成いたしましたので、事務局から読み上げをお願いいたします。

【事務局】

読み上げさせていただきます。

「本地区は、大規模な農業経営体による水稻・小麦・大豆のブロックローテーションが確立された、優良な土地利用型農業地帯であり、昨今、小麦や大豆等の国内生産の拡大が求められる中で、本地域の農業を守り、発展させていく必要性はますます高まっている。また、本地区の基幹的な農業水利施設は、農業用水のほか、水道・工業用水も供給しており、地域経済における重要なインフラの一つとなっている。

本事業は、大規模地震によるこれら農業水利施設の被害を未然に防ぐものであり、緊急性・優先度を踏まえた一定の進捗が図られている。一方で、都市化・混住化等に伴う受益面積の減少と、地域インフラに影響を与えない高度な工法の導入による事業費の増加のために、事業計画の変更が必要とされている。

関係団体からは、事業実施は地域にとって不可欠との意見があるとともに、事業実施に当たっては、計画的な事業推進、事業費の増加抑制等の要望が挙げられている。

以上を踏まえて、本事業においては、関係団体からの要望を踏まえつつ、事業計画の変更を適切に図るべきである。事業実施に当たっては、引き続き、コスト縮減を図りつつ、農業分野以外の産業との共存や環境との調和への配慮に取り組み、事業の計画的な推進に努めることを期待する。」

以上でございます。

【平松委員長】

ありがとうございます。

農政局側から、何か御意見等はございませんか。

【矢総二期 長山所長】

前回の現地調査に引き続き、御意見を頂きまして大変ありがとうございます。私どもの事業の位置付けをしっかりと評価していただき、また、貴重な御助言を頂きまして感謝しております。

私どもの事業については、まだ計画全体の3分の1であり、今回頂いた御意見・御助言を基に、今後、計画変更を実施するとともに、計画的な事業の実施に努めてまいりたいと思っております。引き続き、事業に対しての御支援・御助言を頂ければと思っております。本日はありがとうございました。

【平松委員長】

それでは、事務局において、この意見で再評価資料を取りまとめていただきますようお願いいたします。

最後に議事の3番目「その他」として、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

「その他」としまして、今後の予定につきまして説明いたします。

7月中旬に技術検討会の議事録等を東海農政局のホームページに掲載いたします。

本日取りまとめていただきました「技術検討会の意見」につきましては、再評価資料に盛り込みまして、「事業の実施方針（案）」を農政局で策定しまして、7月末に農林水産本省に報告することとしております。

その後、農林水産本省では、全国のほかの事業評価地区と併せて、評価書を取りまとめた上で、8月末に農林水産本省のホームページで公表する予定となっております。

【平松委員長】

ありがとうございました。

本日の議事はこれで終わりましたので、進行を事務局にお返しします。皆様、進行に御協力頂きまして、ありがとうございました。

【事務局】

平松委員長におかれましては議事進行頂きまして、ありがとうございました。それでは、閉会に当たりまして、東海農政局農業農村整備等事業管理委員会副委員長の澤田から御挨拶を申し上げます。

【農村振興部 澤田参事官】

閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、大変御多忙の中、これまで2回にわたる当技術検討会に御出席を賜り、誠にありがとうございました。

また、短い時間でありましたが、委員の皆様方の貴重な御意見を「技術検討会の意見」として取りまとめていただき、感謝申し上げます。

農政局といたしましては、今回の取りまとめや審議の中で賜りました御意見を踏まえ、「矢作川総合第二期地区」の事業を効果的・効率的に進めつつ、事業効果の早期発現に努めてまいりたいと考えております。また、引き続き、農業農村整備事業の推進について御指導・御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、2回にわたり熱心な御審議を頂きましたことに感謝申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

【事務局】

長時間にわたりまして御審議頂きまして、ありがとうございました。

これをもちまして、「令和6年度第2回東海農政局農業農村整備等事業技術検討会」を閉会いたします。